

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院皮膚科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。もし、本研究におけるカルテ情報の利用にご了解いただけない場合でも、何ら不利益は生じません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

爪甲鉤彎症に対する抜爪療法の効果の調査

[研究の背景と目的]

爪甲鉤彎症は爪甲が肥厚・変色し、鉤状もしくは角状に変形する爪疾患です。爪の変形に伴い歩行時に疼痛を生じることもあり、生活の質の低下につながることも多いです。しかし、爪甲鉤彎症に対する確立された治療法はありません。

この研究で診療録から情報を抽出し、患者さんの患者の年齢、性別、罹患部位、治療効果、合併症などを調査することで、有効な治療法の一つとして、治療の選択肢を広げることができると考えています。

[研究の方法]

●対象となる方

2009年4月1日から2019年3月31日までに東京医科大学病院皮膚科で爪甲鉤彎症に対し、局所麻酔下に抜爪及びテーピングを行った患者さんを対象にします。

●研究期間

医学倫理審査委員会承認日から 2022 年 3 月 31 日

●利用する検体やカルテ情報

性別、生年、年齢、初診年月、人種、罹患部位、罹病期間、治療歴、記録臨床写真 等が含まれます。

●検体や情報の管理

個人情報情報は暗号化され処理し、厳重に秘匿されます。

[当院における研究組織]

研究代表者 皮膚科 主任教授 原田 和俊

研究分担者 皮膚科 臨床研究医 吉田 雅絵

[個人情報の取扱い]

・個人情報は匿名化したうえで検討、解析する匿名化の方法については、情報から個人を識別できる情報(氏名、住所、生年月日、電話番号など)を削除し独自の符号を付し、どの研究対象者の試料・情報であるか直ちに判別できないよう加工したうえで作業を行います。個人と符号の対応表は個人情報管理責任者が保管しま

す。

・情報の管理責任者は研究代表者です。

[問い合わせ先]

東京医科大学病院 皮膚科 主任教授 原田和俊

東京都新宿区西新宿 6-7-1

電話:03-3342-6111 外来内線:2621 医局内線:5824